



中丹

農業改良

第31号

普及センターだより

えびいもの産地復興を目指した普及活動



京都府中丹広域振興局農林商工部

中丹東農業改良普及センター

〒623-0012 綾部市川糸町丁畠10-2

TEL 0773-42-2255

e-mail: chusin-no-higashi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

中丹西農業改良普及センター

〒620-0055 福知山市篠尾新町1-91

TEL 0773-22-4901

e-mail: chusin-no-nishi-nokai@pref.kyoto.lg.jp

発行

2022年
(令和4年)

"築いていこう 差別のない 明るい社会"

中丹地域で取り組む普及活動の重点計画

3か年計画（令和3～5年度）で
取り組んでいる、4つの重点計画について報告します。

1. 次世代水田農業の支援

京都府では新しい良食味品種「京式部」を開発し、令和3年から本格的に栽培をスタートさせました。この品種は大粒で香りがよく、上品な甘みがあり、夏期高温条件下でも品質が低下しにくい等の特徴があります。

近年の異常気象に耐える品種と期待されていますが、中丹地域での栽培実績が少ないため、ほ場の巡回や生育調査、生産者との意見交換を行うなど、収量や品質をしっかりと確保できるような活動しています。

また、集落営農組織の比較的若いオペレーターの方を対象に、栽培の基本技術からスマート農業を学ぶ講座を開催するなど、今後の中丹地域を支える人材を育成する活動もしています。



「京式部」栽培ほ場見学会の様子



スマート農業勉強会で先輩農家に学ぶ
若手オペレーターのみなさん

2. 農業・農村を支える 担い手の確保・育成

農業・農村を支える担い手を「既存の農業経営体」「新規の就農希望者」「非農業者」の3つの視点で整理し、左の図のような活動をしています。



重点対象農家に対する労力確保策の提案



重点対象農家に対する経営指導（専門家派遣）

中丹地域で取り組む普及活動の重点計画

3か年計画（令和3～5年度）で
取り組んでいる、4つの重点計画について報告します。

3. もうかりまっせ！京野菜

中丹地域では関係機関が連携し、京野菜である万願寺甘とうと、えびいもの振興を図っています。

万願寺甘とうでは生産者や民間企業と協力し、自動かん水装置や環境モニタリング機器等を活用して、省力化や収穫量アップを目指す取り組みを行っています。

えびいものはかつて、中丹全域で広く栽培されていましたが、近年はほとんど出荷が見られませんでした。えびいものは「土入れ」など、独特の栽培方法が必要で、手作業の多い品目ですが、最近ではそれらの作業を機械化するなど、省力的な栽培方法も検討しており、万願寺甘とうと作業が分散できる品目として力を入れています。



万願寺甘とうの現地研修会



乗用管理機でえびいもの「土入れ」を実施

4. 集落営農組織の持続可能な 取り組みに向けた活動を支援

中丹管内3市には100ほどの集落営農組織があり、集落の農地を預かって、生産工程を共同で行う活動が進められています。

しかし、京都府などが平成31年度に行ったアンケート調査では、組織の役員やオペレーターの高齢化などにより、組織の継続が困難になっている実態が浮かび上がりました。

そこで普及センターでは、集落営農組織が直面している「農地」・「後継者」・「経営」など様々な課題に対し、10年先も持続可能な組織であるために、今のうちから皆で知恵を出し合い、課題の解決を図るために、伴走支援を行う計画です。



集落の状況を確認



センサーカメラに映った鹿の様子を確認

□ 地域で活躍する農業士

舞鶴市 佐藤正之さん

佐藤正之さんは舞鶴市佐波賀で、万願寺甘とう、堀川ごぼう、トマトなどの様々な園芸品目を従業員3名とともに栽培しています。

その中でも、地域発祥の佐波賀だいこんは、保存されていた種子で試験栽培を行い、栽培方法を確立するなど、一度途絶えた生産の復活に尽力しました。現在は、佐波賀だいこん部会の部会長を務め、種子の保存や効率的な栽培方法の検討に取り組みほか、小売店での販売促進等を通して、知名度の向上にも力を入れています。



指導農業士 佐藤さん

また、子どもたちに農業への関心を持ってもらえるよう、小学校などで講演を行う「きょうと食いく先生」としての活動にも取り組んでいます。

佐藤正之さんは、地域の農業が今後も安定して継続・発展することを目指して日々精力的に活動しています。

□ 『担い手養成実践農場研修』 修了者に聞く(経営開始型)

舞鶴市 岡安賢治さん

舞鶴市野村寺で万願寺甘とうをハウスで栽培する岡安賢治さんは、平成26年から2年間、実践農場研修を受けました。

実践農場研修時は土壌病害に悩んでいましたが、様々な文献を参考に改善に取り組みました。その経験から「順調に事が進んでいたら得ることのできない様々な知見を得ることができ、それが現在にも役立っている」と考えています。

「美味しい万願寺甘とうを作り、食べてもらう人に心底喜んでほしい。そのためにも、これまで得た知見を部会員と共有し、産地全体の生産技術を高めていきたい」と産地力アップのために日々、意欲的な栽培に取り組んでいます。



剪定中の岡安さん

頑張る生産者の声

スマート農業導入事例

福知山市 株式会社 小林ふぁ～む



専務取締役
小林さん

福知山市六十内で水稲・野菜を栽培する「株式会社小林ふぁ～む」は、水稲栽培で直進キープ機能付き田植機、食味・収量計測機能付きコンバインなどスマート農業機器を導入し、省力化に加え高品質な米の生産を目指しています。また、KSASと呼ばれるクラウドサービスを利用し、農作業の「見える化」を行っています。

専務取締役で京都府指導農業士の小林伸輔さんは、「スマート農業機器を導入することで、米の食味などの品質が向上しました。また、KSASを利用することで、作業の管理が行いやすくなりました」と、より高品質な米の生産に取り組んでいます。

頑張る法人

綾部市 農事組合法人
グリーンファーム鷹栖



グリーンファーム鷹栖のみなさん

「農事組合法人グリーンファーム鷹栖」は、「みんなの農地はみんなで守ろう」を合い言葉に綾部市鷹栖町で、水稲・小豆・万願寺甘とうなど、約10haの経営を行っています。

万願寺甘とう収穫・選別作業は、鷹栖集落の女性が担当するなど、集落営農の維持に努めています。

また、今年度から米の新品種である「京式部」の栽培に取り組んでいます。「京式部」を栽培した感想として「コシヒカリよりも倒伏に強いので作りやすく、大粒で収量も多かった」と今後に向けた手応えを感じています。

農林女子の動き

のら×たん ゆらジェンヌ



上：代表の居相さん
左：ゆらジェンヌの
みなさん

一次産業に携わる女性グループの「のら×たん ゆらジェンヌ」は、主に中丹地域で活動しています。今回は、代表で京都府指導農業士の居相雅代さんにお話をうかがいました。

Q1) 加入のきっかけは？

普及センター主催の交流会で、中丹地域で活躍する素敵な農業女子に出会い、是非一緒に活動したいと思い参加しました。

Q2) 印象的な活動は？

マルシェは直接お客さんと会話ができ楽しいです。また、商談や出店のチャンスに備えて勉強会を開催しています。

Q3) 今後やりたいことは？

「きょうと食いく先生」にメンバーが6人認定されているので、コロナが落ち着いたら食育活動を行いたいです。

Q4) 最後にひとこと

農業に限らず、一次産業に関わる「ゆらジェンヌ」のメンバーは随時募集中です。一緒に楽しく活動しましょう！

頑張る若手生産者

舞鶴市 奥野 亜里沙 さん



万願寺甘とうを
収穫する奥野さん

奥野亜里沙さんは、令和2年から舞鶴市三日市にて、万願寺甘とう生産者で京都府指導農業士の添田潤さん指導の元、担い手養成実践農場で研修中です。

研修の中で農業を実際に始めてみて、奥野さんは「農業は儲けにくい職業ですが、儲けるための工夫も無限にあるとも感じ、難しいが今が頑張るところ」と考えています。

また、万願寺甘とうが大好きで、「おいしいものを作り、全国の方に届けられるように。夢は万願寺甘とうの専作で儲かる道を考えていきたいです」と、今後、部会を支える一員になれるように栽培に取り組んでいます。

Topics

「将来の進路の参考に」

～京都府農業大学校生の現地見学会を実施～



夜久指導農業士（左奥）から、カボチャの採種事業について説明を受ける学生（福知山市夜久野町）

この現地見学会は、中丹地域農業士会（農業士32名で構成）と京都府農業大学校との共催行事で、学生が就農に必要な知識や情報を得ることを目的に、毎年開催しています。

令和3年10月26日に、福知山市の先進的な農業を実践している指導農業士の農業経営を見聞し、その概要説明を受けるとともに、農大の卒業生で雇用就農した先輩との交流も和やかに行いました。

～農福連携の動き～



小豆ほ場で除草作業中の福祉事業所利用者のみなさん

普及センターでは、農福連携の推進に向け、昨年度から中丹地域の農業者や福祉事業所に対し、農福連携についての聞き取りを行い、農業者と福祉事業所をマッチングする取組みを始めています。

令和3年10月には、福知山市大江町の「鬼の里農園」と市内の福祉事業所をマッチングし、小豆圃場の草引きを行いました。「鬼の里農園」は「若い利用者の方々に頑張ってもらい、よい刺激になった。鬼の里農園は高齢者が多く、草引きは足腰に負担がかかるので、非常に助かる。機会があれば草引き以外の作業も頼みたい」と農福連携に手応えを感じています。

～京野菜の知名度向上に向けて～ えびいもの食育活動の取組み

京野菜であるえびいもの知名度向上と園児への食育を目的に、福知山市内の幼稚園でえびいもの栽培を行いました。園児が定植、水やり、土入れ、収穫などの作業を行い、収穫後はみんなで採れたてのえびいもを味わいました。

収穫時には「大きいえびいもがたくさん採れた」「えびの形をしている」と大喜びでした。また、えびいもを蒸かして食べた園児は、「ほくほくしておいしい」とえびいもそのものの味を楽しみました。



大きなえびいもが採れて喜ぶ園児



茶園での審査の様子

～にのくに茶業青年団～ 茶園品評会を開催

JA京都にのくに茶部会では、若手農業者が栽培・製茶技術を共に学ぶことを目的として、「にのくに茶業青年団」を組織しています。

茶業青年団は普及センターの協力を得て、各団員の栽培技術の向上や、次世代の担い手を育成することを目的として、茶樹の生育や茶園の管理状態を互いに審査する茶園品評会を実施しました。

団員らは各自の茶園の審査結果を踏まえ、さらなる栽培技術向上を目指します。

Topics

～獣害対策支援～

綾部市別所町

今年度、綾部市別所町では市の事業を活用し、現在使用している電気柵に替えて、ワイヤーメッシュ柵を約4.5kmにわたり長距離設置をします。

そこで普及センターでは、綾部市や中丹広域振興局農工商連携・推進課と連携して、設置時の注意点や管理のポイントなどについて講習会を開催しました。農家以外の方も参加され、講習会後のアンケート結果では、地域全体で獣害対策に取り組む意識の高まりが伺えました。



講習会の様子

IPM実証調査を実施

「IPM」とは化学、生物、耕種、物理的防除をバランスよく組み合わせ、農薬防除の費用を抑え、人や環境へのリスクを軽減する技術です。

普及センターでは、綾部市上八田町のハウスで万願寺甘とうのIPM実証調査を行いました。その結果、天敵やその他資材を組み合わせることで、害虫被害抑制と化学農薬使用回数低減による省力化につなげることができました。



天敵の数と種類を調査

京都府の「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、直売所を活性化

福知山市夜久野町 「やくの高原市」



上：店内に並ぶ商品
左：「やくの高原市」に立つのぼり

福知山市の「やくの高原市」では、売上向上のために会員の約3割がエコファーマーであることを活かした販売戦略を検討しました。

そこで、「小さな経営革新チャレンジ支援事業」を活用し、研修会の開催、エコファーマーマークのシールと直売所のぼりを作成しました。店長の衣川さんからは「会員に一体感が出て、エコファーマーを取得する人も増えている。いろんなアイデアを出して直売所を盛り上げたい」と意気込みが聞かれました。

全国茶品評会・関西茶品評会の かぶせ茶部門で 全国茶品評会 産地賞 を受賞 関西茶品評会 農林水産大臣賞

埼玉県で開催された第75回全国茶品評会において、綾部市がかぶせ茶部門で産地賞を受賞しました。

また、奈良県で開催された第73回関西茶品評会において、(有)両丹いきいきファーム(綾部市位田町)代表取締役 中田義孝さんが、かぶせ茶部門で農林水産大臣賞を受賞しました。



(有)両丹いきいきファーム
代表取締役 中田さん

普及センター掲示板

後継者の育成等
よろしく
お願いします！

新しい農業士さんです

福知山市

指導農業士
荻野 功治 さん



福知山市夜久野町で、そば・小豆・酒米「祝」を栽培しています。そばで地域の農地を守ってきており、そば加工品の都市部への販売等をとおして、夜久野町に訪れてもらうことで、地域農業を活性化していきたいと考えています。

福知山市

指導農業士
松行 輝 さん



福知山市三和町で万願寺甘とうを栽培しています。栽培にあたっては、毎日ほ場に出て作物をよく観察するよう心がけています。また、三和町の万願寺甘とう栽培者と互見会を行っており、活動を通じてお互いの技術研鑽や後継者育成を図りたいと考えています。

綾部市

青年農業士
高橋 孝明 さん



農業は食料安全保障を担うだけでなく、環境保全や観光資源など多面的な性質があります。しかし、経営規模の小ささや労働者の高齢化・後継者不足から長期的な戦略が描きづらく、情報発信も弱いため、社会的な認知が足りていません。長期的な成長戦略を描き、農業の魅力を伝え、将来の農業を支えて参ります。

お世話になりました 退任される農業士さん

福知山市

指導農業士
井田 光彦 さん

指導農業士
衣川 利章 さん



中丹東農業改良普及センターのウェブサイトで、平成16年発行の第1号から昨年発行の第30号までの普及センターだよりを閲覧できます。懐かしい記事もありますので、是非ご覧ください。



普及センターだよりのバックナンバーをWebで閲覧

伝承技能登録 新たに6名が登録へ

中丹管内の農業分野で新たに6名の方の技術が登録されました。今後、次世代への伝承活動も含め、さらなる活躍を期待いたします。

氏名	技術の名称
衣川 重人 さん (福知山市)	黒大豆の安定生産
西原 孝史 さん (福知山市)	良食味米の栽培
竹原由海子 さん (綾部市)	米麴・発酵食品づくり
志賀 生実 さん (綾部市)	養蜂 (ニホンミツバチ)
村上 敏郎 さん (綾部市)	万願寺甘とうのトンネル早熟栽培
渡辺 安雄 さん (綾部市)	万願寺甘とうの栽培

農山漁村伝承優秀技能者 「農の匠」に認定

伝承技能登録の内、極めて希少価値が高く優秀な技術者を認定しています。

内田 修 さん (綾部市)

紫ずきんの育苗に関して創意工夫を重ねており、管内でも随一の発芽技術を持っています。播種後は過剰にかん水しない様独自の基準を設ける等、経験に基づいた丁寧な作業を行っており、「内田式」とも呼ばれています。



大槻 孝宏 さん (綾部市)

万願寺甘とうの連作ハウスにおいて、高い生産性を維持し続ける篤農技術を持っています。特に土作りにはこだわりがあり、毎年冬季には周囲の山の下草や植物残渣を畝下にすき込むことで、土壌を健全に保つよう工夫を行っています。



★ ★ ★ ★ 新規採用職員紹介 ★ ★ ★ ★

福知山三和担当 舞鶴加佐担当 西舞鶴担当 東舞鶴担当



藤井 技師
(中丹西)



岩佐 技師
(中丹東)



北尾 技師
(中丹東)



大森 技師
(中丹東)

"農薬はラベルをよく見て、安全に使用しましょう"